

令和2年度学校自己評価システムシート (県立所沢西高等学校)

目指す学校像	様々な生き方や考え方を認め合い、安心して学べる環境の中で、社会で主体的に生き挑戦する気持ちを育む場とする。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業と評価の改善に取り組み、学力の向上を図るとともに、生徒が主体的に課題を発見し、解決する態度を育成する。 2 生徒が自ら進路選択をし、その実現を図れるよう指導体制を充実させる。 3 安心して安全な学校づくりを進め、多様な価値観を認め合いながら、生徒が自主的に特別活動等に取り組める環境を充実させる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	12名
	事務局(教職員)	14名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 2 月 2 3 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、本校では「将来像委員会」で「目指す学校像」と「教育方針」を見直した。それを踏まえて、授業や評価の改善に取り組む必要がある。 ・学力の向上を図るには、自ら課題を見つけ解決しようとする、生徒の主体性を育むことが必要である。 	授業と評価の改善につながる取組	<ol style="list-style-type: none"> ①授業改善、評価方法の改善に関する研修会を行う。 ②校内で公開授業週間を設ける。 ③教科連携を進めるため、各教科の年間指導計画を共有する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ルーブリックを活用する等の研修会を学期に1回ずつ行い、アンケートで授業と評価の改善へ意識が高まったか。 ②公開授業週間を設け、授業を見合う環境を整えたか。 ③他教科の指導計画を共有し、授業内容に生かすことができたか。 	<p>概ね達成できた</p> <ol style="list-style-type: none"> ①県立総合教育センター指導主事による評価研修会を1回実施できた。 ②公開授業週間は設けられなかったが、年次研修対象者による授業研究を行った。 ③将来像委員会による研修を3学期に予定している。 	B	評価方法の研究を一層進め、新教育課程に移行する令和4年度からは年間の評価計画を示せるよう、シラバス等を作成していく必要がある。
		主体的に学習に取り組む態度の育成	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の主体性を引き出す授業改善、課題の工夫を進める。 ②進学補講を充実させ、学習への意欲を高める。 ③自主学習の意欲を高める課題提示とフィードバックを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ICTや生徒への授業アンケートの活用を通して、授業改善に取り組んだか。 ②進学補講の開講数が増え、アンケートで生徒の意欲が高まっているか。 ③自主学習に取り組む環境を整えることができたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①Google Classroomを利用した課題指示、授業改善の要望等についてアンケート調査をし、課題を把握できた。 ②夏季休業期間が短く、開講数22講座から12講座に減少。 ③スタディサプリを全校に導入することができた。 	B	学習者が主体的に取り組めるよう引き続き授業改善に取り組む。到達度テスト等を活用し、弱点の把握等の振り返りを適切に行うことで、早い時期から学習意欲を高める必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択には早期からの準備が不可欠であり、指導体制の一層の充実が今後も求められる。 	進路選択に必要な情報提供の充実とキャリア形成に向けた仕組みの構築	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を通して進路を見通せるよう、新しい目指す学校像に沿ったキャリア形成の仕組みを整える。 ②進路行事やガイダンス機能等をさらに充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①キャリア形成の仕組みを検討し、整えることができたか。 ②生徒アンケートで、ガイダンス機能の充実が実感されているか。 	<p>概ね達成できた</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合的な探究の時間を中心にキャリア形成の仕組みを検討することができた。 ②ガイダンス機能の充実についてアンケートでは、83.7%から82.7%へとほぼ横ばいであった。 	B	生徒が3年間でどのように成長して行くかを見通したり、実感したりできるように、キャリア形成の仕組みをより一層充実させる。適切な進路指導を行うため、教員へのサポート体制も充実させる。
		生徒の社会形成能力の育成と安全教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①IT機器の適切な使用法等を指導し、他者を尊重する人権意識を育てる。 ②生徒が抱える問題を職員全体で共有し、適切に対処できる相談体制を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒への指導だけでなく、保護者対象の講演会等を通して、学校全体で取り組むことできたか。 ②生徒アンケート等も利用し、ニーズを把握しながら、関係機関と協力し、相談体制の充実を進められたか。 	<p>概ね達成できた</p> <ol style="list-style-type: none"> ①情報の授業やオンライン検討委員会を中心に、生徒への指導を行うことができた。 ②オンラインでの健康相談や面談を行うことができた。毎月のSC派遣要請で、相談体制を整えることができた。 	B	SNS等のトラブルについて、保護者を含めた取組を充実させる。生徒が個々に抱えている問題を共有し、迅速に対応できる仕組みを一層整える必要がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで本校生徒が取り組んできた部活動、特別活動、生徒会活動等にさらに多くの生徒が主体的に取り組める環境を充実させるとともに、本校の新たな特色を模索していく必要がある。 	生徒の自主的で積極的な取組の一層の推進と地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> ①学校行事や部活動に主体的に取り組めるよう指導を充実する。 ②地域交流やさまざまなボランティア活動等を通じ、多様な人と関わることで生徒の社会性を育む。 ③本校の新たな特色を模索する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートで、積極的に取り組んでいる割合が高まっているか。 ②地域交流やボランティア活動に参加する生徒が増えているか。 ③本校の特色につながる新たな取組を検討し着手できたか。 	<p>概ね達成できた</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オンライン文化祭等、工夫して学校行事を実施できた。 ②福島県立いわき海星高校と缶詰販売の交流ができた。新校の校歌作成に係るボランティア事業が進行している。 ③十分に検討する時間を確保できなかった。 	B	コロナ禍でも可能な限り工夫して、できることに取り組むことができた。地域交流やボランティア活動等については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を見極めながら、再開を検討していく。

学校関係者評価
実施日 令和3年2月3日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・大学でも全ての科目でシラバスとルーブリックを作成している。引き続き研究して欲しい。 ・第三者視点で見つめることは、授業改善に大きく影響するので、公開授業を実施できると良い。 ・研修会等で評価方法について前向きに取り組んでいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが実生活で生きるという経験が豊富になれば、行動範囲も広がり主体的態度が見えるのではないかと。 ・Google Classroomは対面とは大きく異なるので、遠隔授業に関する授業改善の要望に対応すること自体、難しかったと思う。 ・スタディ・サプリの導入は生徒が学習に取り組む意欲につながったと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では将来のイメージがつかみにくい現状があるが、社会に出ることが身近に感じられる高校生でのキャリア教育は重要である。 ・ガイダンス機能の充実によって将来像が見つけやすくなったと実感している。 ・相談しやすい環境が整うと進路についてより考えると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインが活用できたことは良かった。コロナ禍の中で生徒の健康状態が把握しやすくなったと思う。 ・SNSとうまく付き合えるように、保護者も含めて考えていきたい。 ・SNSの指導には保護者の理解と協力が必要になるので、保護者を巻き込んでの取組を実施して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をした上で地域交流に取り組めることを願っている。 ・ボランティアをやってみたくらいから入学した生徒もおり、特別活動の一層の充実をお願いしたい。 ・部活動への積極性、ボランティアへの意識が高く、良い校風だと思う。